

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援

*「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。

- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

子ども心身発達医療センター始動！

～これからも「途切れのない発達支援」続けます！！～

6月1日に三重県立子ども心身発達医療センターが津市北部の大里の地にオープンしました。三重病院のお隣に、外来部門、入院部門からなる医療棟、草の実分校とあすなる分校のかがやき特別支援学校の学校棟が一体となったセンターの建物が建っています。センターとしての取り組みも、これまでの「児童整形」「児童精神」「難聴児支援」、そして、それぞれの教育を担う学校が一体となって、それぞれの専門性を活かした医療体制、療育体制の充実を図り、三重県の子どもたちの発達支援の拠点となっていきます。



これまで「あすなる学園」と三重県が取り組んできた「途切れのない発達支援」は、今後も同様に地域支援課が、

1. 発達総合支援室（保健、福祉、教育の一元組織）の設置、
2. 「CLMと個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期支援（保健師、保育士、教員及び担当部署職員の人材育成）、
3. みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修（市町の核となる人材育成。1年間のセンターでの研修の後、市町の発達総合支援室に配置）

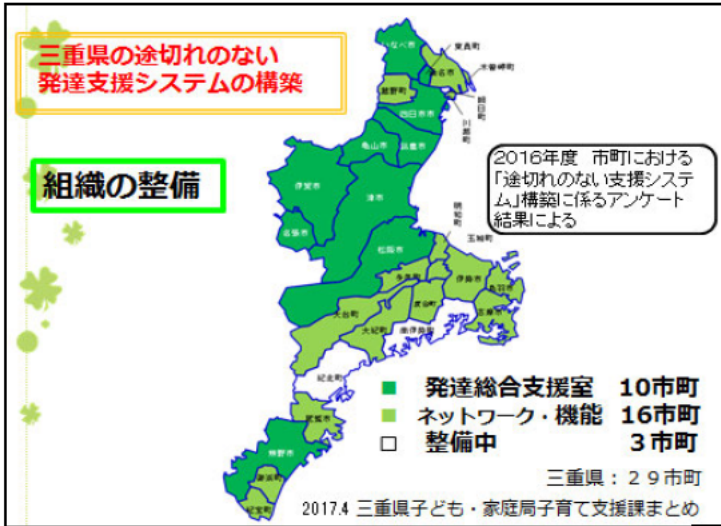
の3本柱で進めていきます。三重県に生まれ育つ子どもたちが、身近なところで、途切れのない支援が続けて受けられるように、取り組みを進めていきたいと思えます。

これからも、これまでと同様よろしくお願い申し上げます。

県内の「途切れのない発達支援」の状況報告

各市町に「途切れのない発達支援システム」が広がっている状況を、三重県地図で表しました。これは、県健康福祉部 子ども・家庭局 子育て支援課 発達支援体制推進班（現 要保護児童・発達支援班）が平成 28 年度末（平成 29 年 3 月末）時点で市町からの報告を基に作成した資料を基にしています。

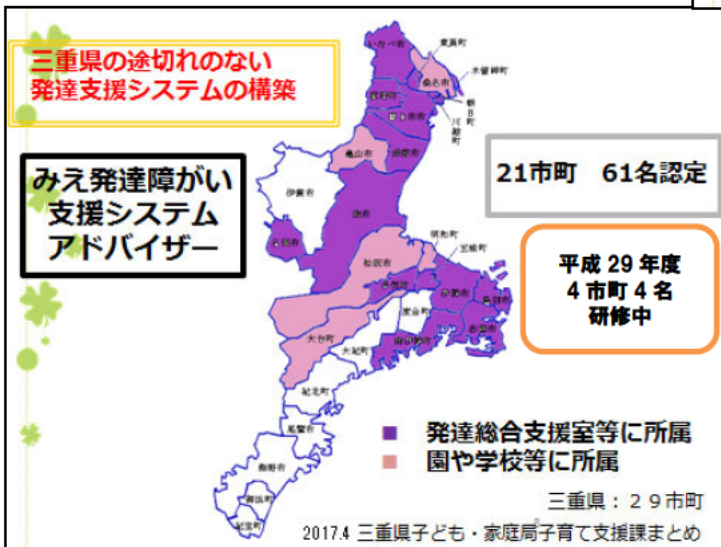
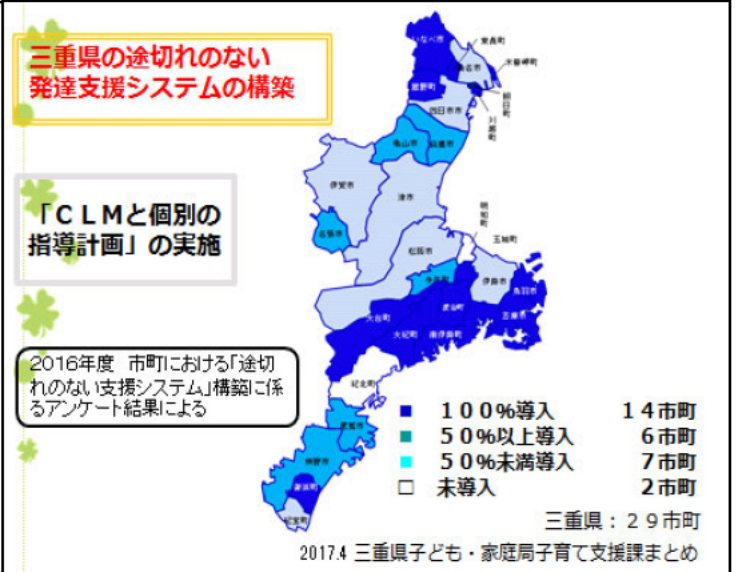
平成 29 年度に入ってからシステムが整えられた市町もありますので、最新の状況はお住まいの市町にご確認ください。



①組織の整備…子どもの発達支援の核となる「発達総合支援室」組織が自治体におかれているかを表しています。

「ネットワーク・機能」とは、「保健・福祉・教育」を一元化した組織が置かれていなくとも、各部署の担当者が定期的に集まり園の巡回指導やケース検討会等と一緒に進む仕組みが作られていることを言います。

②「CLM と個別の指導計画」の実施…三重県の、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」目標の一つとして、県全体で保育園・幼稚園等への「CLM と個別の指導計画」導入率が、平成 31 年度には 75%になることを掲げています（平成 28 年度末は 44.3%でした）。



②みえ発達障がい支援システムアドバイザー…自治体の「発達総合支援室」等で、発達支援の核となって活動することが期待されています。平成 28 年度末で 21 市町の 61 名が認定され、平成 29 年度は 4 市町の 4 名が研修中です。

平成29年度(2017年度)版 「CLMと個別の指導計画」をご活用ください

「CLM と個別の指導計画」は、活用されている各市町からの声をもとに、毎年少しずつ変更・改善されています。今年度は項目の表現や書式を変更して、子どもの情報や検討したプランをより正確に書くことができるように改善しました。下に「プラン」の例を示しましたので、どうかご参考ください。(Aくん…今春のワークショップで示した仮想事例です)



Aくんの姿

- 落ち着きがなく、よく動く。
- 好きなこと(昆虫、三輪車)がやめられない。

クラスの様子

- 年中児(15名)
- 落ち着きのない子が数名いる。

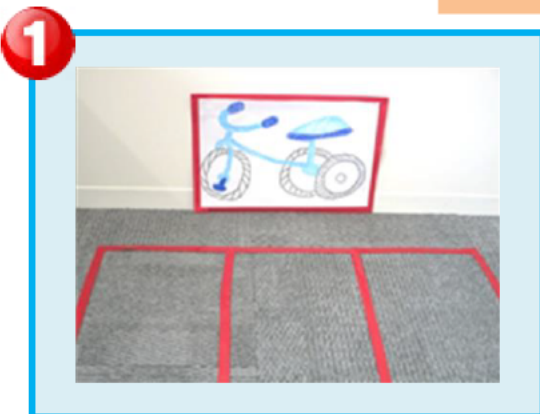
担任の願い

落ち着いて行動できるようにしてほしい…



名前：Aくん (4歳児)																																
チェック項目 (2) 片づけができない エピソード 園庭あそびの時、「お片づけです」と声をかけても三輪車を片づけずそのまま遊び続ける	要因 ① 片づけの始まりと終わりがわからない ② もっとあそびたい ③ やる気になれない																															
目標：園庭あそびの片づけの時、三輪車を決められた場所に、片づけることができるようになる。																																
期間	具体的な指導方法	結果・評価																														
9/4 ～ 9/15 2W 10回	<p><クラス環境の整えとクラス全体の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> • 片づける場所を決め、片づける物の絵や写真カードを貼っておく。(例1) • 時計に印をつけて、片づけの時間を示す。(例2) • 朝の会で、園庭あそびの片づけ方を説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> • おんがくがなったら、しぶんのあそんでいたものをかたづける。 • かたづけができたなら、シールがはれるよ! </div> <ul style="list-style-type: none"> • 例えば給食後にも、また園庭あそびができることを伝える。 • 片づけの時間になったら、音楽をかける。 <p>• 園庭に残っている物があつた時は、「〇〇さん、△△を片づけてね」と担任が片づける物を伝える。</p> <p>• 片づけができたことをほめ、がんばりシールを渡す。(例3)</p>	<p><個別の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> • 片づけの3分前に、「もうすぐ片づけだよ。音楽がなったら、今乗っている三輪車を片づけてね」と声をかける。 • 片づけができたことをほめる。 																														
		<table border="1"> <tr><td>9/4</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/5</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/6</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/7</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/8</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/11</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/13</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/14</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9/15</td><td>○</td><td></td></tr> </table> <p>評価日 9月15日(金) 16:00 ～</p>	9/4	○		9/5	○		9/6	○		9/7	○		9/8	○		9/11	○		9/12	○		9/13	○		9/14	○		9/15	○	
9/4	○																															
9/5	○																															
9/6	○																															
9/7	○																															
9/8	○																															
9/11	○																															
9/12	○																															
9/13	○																															
9/14	○																															
9/15	○																															

支援アイテムの例



みえ発達障がい支援システムアドバイザー 平成29年度研修者紹介

平成29年度は、4市町からの4名の研修者が、出身市町から使命を受け子ども心身発達医療センターで研修に取り組んでいます。その取り組みの一端を研修者の皆さんに語って頂きました。



この研修が始まって、新しい出会いや学びをたくさんいただいていると実感しています。先輩アドバイザーのように、地域で生活する方々への適切な支援を行えるようになれるよう頑張りたいと思います。【四日市市 小黒富美子】

アドバイザー研修が始まり、戸惑うことも多くありますが、日々勉強であり貴重な時間を過ごしています。この1年間で、さまざまな知識と技術を身に付け、市町で活かしていけるように頑張りたいと思います。【伊勢市 溝口友美】



4月から、色々な場で多くの方から貴重な学びをいただいています。これから本格的に始まる研修の中で様々な知識と専門性を身に着け大きく成長し、いなべ市の子育て支援に貢献できるよう頑張ります。【いなべ市 太田ゆみ】

新しい生活にも少しずつ慣れはじめ、これまでの保育士の目線とはまた違った角度から子どもや子育て支援について学ばせていただいています。これからの子どもたちのために多くの知識と技術を身につけたいです。【多気町 森田優人】



「CLMと個別の指導計画専任コース」研修始まる

平成29年度より、「CLMと個別の指導計画専任コース」研修が始まりました。これは、「CLMと個別の指導計画」が保育所や幼稚園の現場で実施され市町で普及していくための、核となる人材を育成することをめざす研修です。研修者は4月から約90日間のセンターおよび巡回対象園等での研修を修了したあと、「CLMコーチ」として普及推進を担うことが期待されています。



専任コースの研修生として週3日間学ばせていただき、刺激的な日々を送っています。研修で学んだことを活かして、子どもたちの笑顔があふれるような町づくりにつなげたいと思います。【大台町 筒井千歳】

後日詳報!

「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援の実践報告会
H29年11月12日(日)三重県総合文化センター内 フレンテみえ多目的ホールにて

平成29年(2017年)7月27日

<発行>三重県立子ども心身発達医療センター 広報担当:発達総合支援部 地域支援課
〒514-0125 三重県津市大里窪田町340番5

MAIL:childc@pref.mie.jp URL:http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/